ハローワークの職業紹介業務目標の進捗状況について

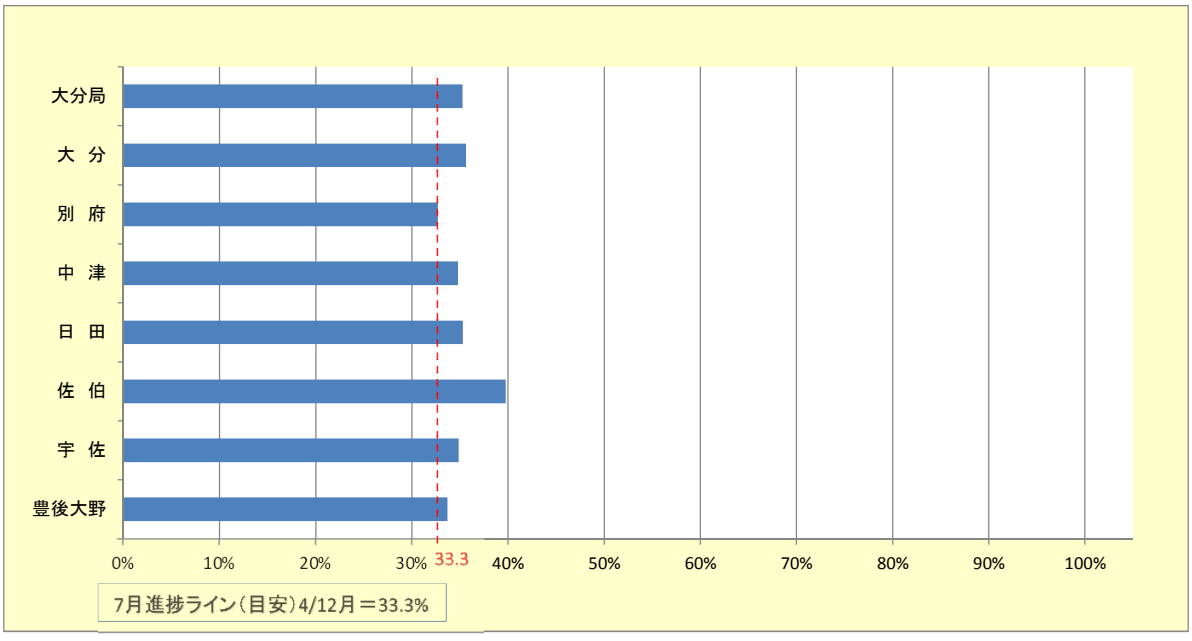
令和元年7月

就職件数(常用)

実　績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	21,041	1,980	1,864	1,736	1,841									7,421	35.3%
大　分	7,860	703	711	656	729									2,799	35.6%
別　府	3,651	324	294	299	277									1,194	32.7%
中　津	2,201	189	179	197	201									766	34.8%
日　田	1,944	176	169	158	183									686	35.3%
佐　伯	2,294	287	225	191	209									912	39.8%
宇　佐	1,925	199	176	146	150									671	34.9%
豊後大野	1,166	102	110	89	92									393	33.7%

進　捗　状　況



ハローワークの職業紹介業務目標の進捗状況について

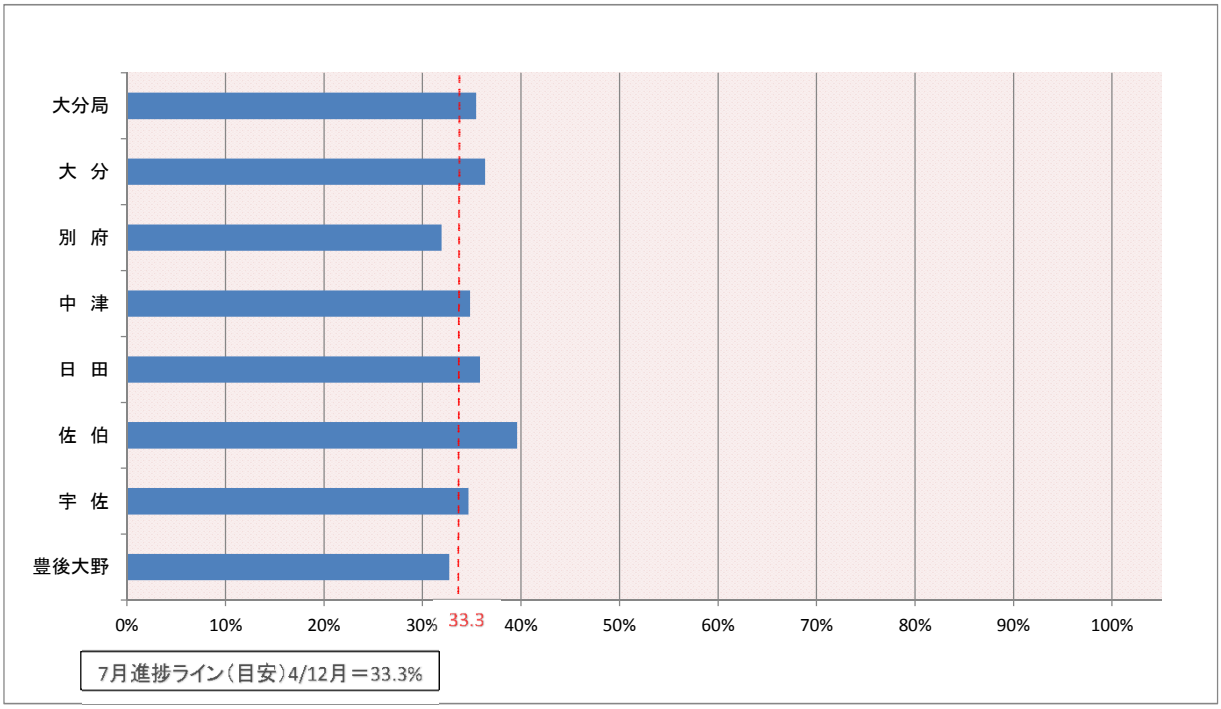
令和元年7月

充足件数（常用　受理地ベース）

実　　績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	20,435	1,946	1,813	1,686	1,801									7,246	35.5%
大　分	8,801	838	802	739	821									3,200	36.4%
別　府	3,252	276	262	248	252									1,038	31.9%
中　津	1,982	185	158	184	163									690	34.8%
日　田	1,738	163	157	134	169									623	35.8%
佐　伯	1,982	230	192	174	189									785	39.6%
宇　佐	1,702	170	157	131	132									590	34.7%
豊後大野	978	84	85	76	75									320	32.7%

進　捗　状　況



ハローワークの職業紹介業務目標の進捗状況について

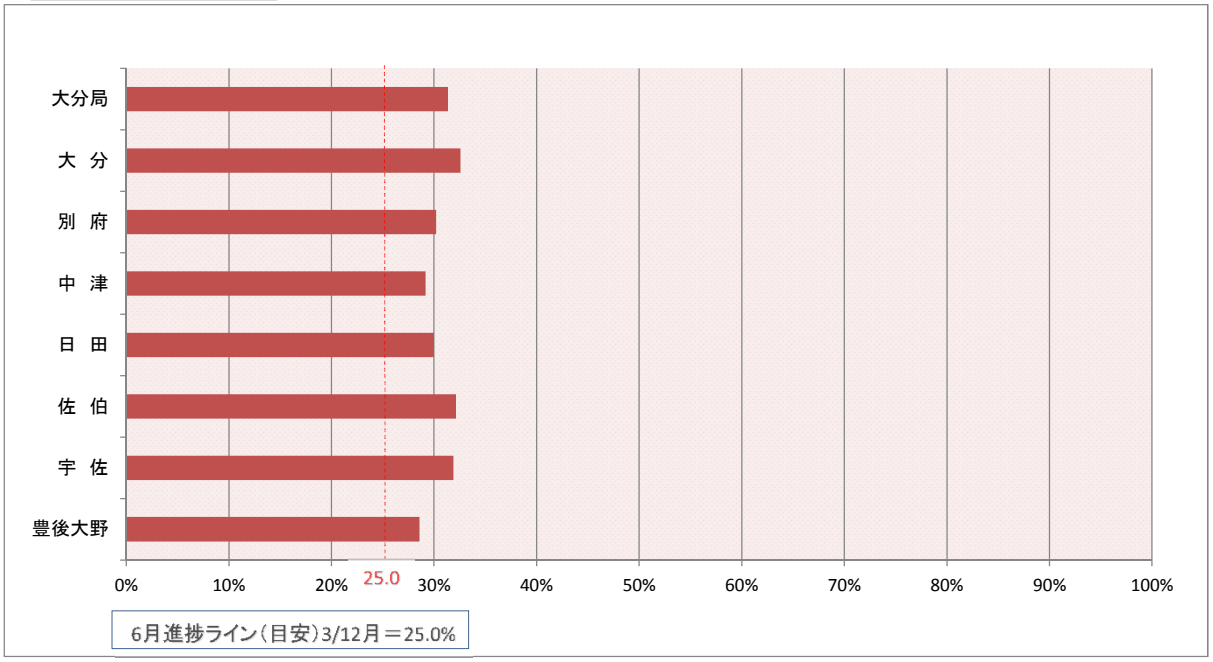
令和元年6月

雇用保険受給者の早期再就職件数

実　績

	目標参考値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	5,754	512	619	674										1,805	31.4%
大　分	2,409	214	235	336										785	32.6%
別　府	963	98	110	83										291	30.2%
中　津	473	42	58	38										138	29.2%
日　田	527	38	56	64										158	30.0%
佐　伯	622	53	79	68										200	32.2%
宇　佐	480	44	53	56										153	31.9%
豊後大野	280	23	28	29										80	28.6%

進　捗　状　況



※　雇用保険受給者の早期再就職件数については、1ヶ月遅れの公表となります。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組状況について（平成 30 年度）

厚生労働省では、全国のハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価を行い、サービスの質の向上を図るとともに、就職支援の強化に取り組んできました。

大分労働局管内のハローワークにおける、平成 30 年度の総合評価の結果は、以下のとおりとなりました。

なお、各ハローワークにおいて、重点的に取り組んだ事項、また、指標ごとの実績及び目標達成状況については、「就職支援業務報告」（別紙参照）のとおりです。

今年度においても、継続的な業務改善等に取り組み、求人者・求職者サービスの向上に努めてまいります。

各ハローワーク別マッチング機能に関する業務の総合評価の結果

ハローワーク	総　合　評　価
ハローワーク大分	標準的な成果
ハローワーク別府	標準的な成果
ハローワーク中津	標準的な成果
ハローワーク日田	良好な成果
ハローワーク佐伯	良好な成果
ハローワーク宇佐	良好な成果
ハローワーク豊後大野	標準的な成果

ハローワークのマッチング機能に関する業務の

評価・改善の取組状況報告

【平成３０年度評価結果】

□評価・改善の取組の概要　Ｐ１～３

□各ハローワークにおける就職支援業務報告（総括）　Ｐ４～１０

□主要三指標の進捗状況

・就職件数（常用）　Ｐ１１

・充足件数（常用、受理地ベース）　Ｐ１２

・雇用保険受給者の早期再就職件数　Ｐ１３

大分労働局職業安定部

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（平成30年度結果）

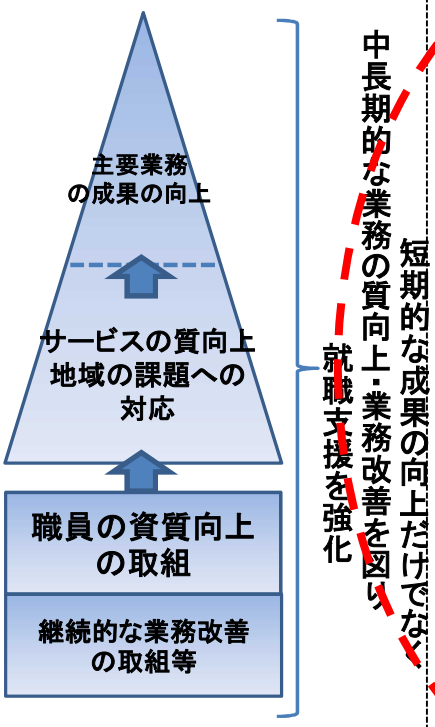
ハローワークの機能強化を図るための従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善にかかる平成30年度の実施結果を公表します。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

PDCAサイクルによる目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組（就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、
①業務の質に関する**補助指標**
②ハローワークごとに地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
③中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**

を**新たに設定し、**目標管理を実施。



ハローワークのマッチング機能の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果について毎月公表

  →労働局がハローワークの主要指標の実績を毎月公表

- 年度終了後、業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。

  →労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループ毎に分け、同一グループ内で相対評価

- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。

- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

評価結果等に基づく全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局によるハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施。

①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）

③好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務･取組を選択

全ハローワーク共通の評価指標（主要指標･補助指標）

(1)主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- ○ 就職件数
- ○ 求人充足件数
- ○ 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2)補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- ○ 満足度調査
- ○ 求人に対する紹介率
- ○ 求職者に対する紹介率

ハローワークごとの重点的な取組の評価指標（所重点指標･所重点項目）

(1)所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- ○ 障害者の就職件数
- ○ 正社員求人数
- ○ 正社員就職件数
- ○ 生活保護受給者等の就職件数　など

(2)所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- ○ 職員による事業所訪問の実施
- ○ 求職者担当制の実施
- ○ 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- ○ 好事例を導入した業務改善を実施　など

ハローワーク大分　就職支援業務報告（平成３０年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

○双方向の求職者担当制によるきめ細やかな就職支援を最重要と考え、重点求職者を中心とした求人情報の提供及びプラス１紹介に積極的に取り組みました。

○一定期間来所していない求職者に対しては、求人情報の郵送により窓口利用の呼びかけを実施しました。

○ハローワーク内の求人検索パソコンを利用して求職活動を行っている方に対して、パソコン利用カードの返却時に受付で、窓口での職業相談について呼びかけを行うとともに、応募したい求人がない場合でも窓口の利用を促すための「相談意思表示カード」を各パソコンに配置して窓口誘導を行いました。

○求人充足会議の運営方法を見直して、紹介部門においては自部門での支援対象求人の選定や支援の方策を事前に検討した上で会議に臨むこと、求人部門においては選定した支援対象求人を担当者制で支援することとし、紹介部門と求人部門との連携を強化して求人充足のための支援を行いました。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

○ハローワークの職業相談等においては各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政職員を講師とした研修を行いました。

○職業相談技法の向上等のため、労働局や労働大学校が実施するキャリアコンサルティングに関する研修に積極的に職員を送り出しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

○福祉、建設、警備、運輸の各分野における人手不足の傾向が顕著であることから、オアシス庁舎に設置している既存の「福祉人材コーナー」を、平成 30 年度から福祉分野に建設、警備、運輸の各分野を支援対象に加えた「人材サービスコーナー」に拡充して、各分野における就職支援に取り組みました。

○毎月開催している「事業所ミニ説明会」では、参加者からアンケートを取って改善点を把握するなどにより、実施方法等を工夫して行いました。

○学生コーナーでは、求職者の利用を促すためにＬＩＮＥなどのＳＮＳや新聞などのメディアを活用した情報発信を行いました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○有効求人倍率が高水準で推移する中で、求人と求職のよりよいマッチングを行う必要があり、求職者への求人情報提供後のフォローアップを行うことや、求職者の希望を求人者に伝えて求人条件の緩和を打診することなどにより、さらなる就職支援に取り組みます。

○福祉、建設、警備、運輸の各分野における人手不足の傾向が顕著であることから、求人者・求職者向けのセミナーや事業所説明会の実施、関係機関との連携により就職面接会、職場体験会、事業所見学会などのイベントを実施して、求人と求職のマッチングに取り組みます。

（４）その他業務運営についての分析等

有効求人倍率が高水準で推移する中で企業の人手不足感が継続しており、潜在求職者のハローワーク窓口への誘導や人材確保の支援対策にさらに積極的に取り組んでいく必要があります。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ｼﾞｮﾌﾞｻﾎﾟｰﾀｰの支援による正社員就職件数	ﾏｻﾞｰｽﾞﾊﾛｰﾜｰｸ事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
実績	8，286	9，361	2，646	84．1%	93．9%	19．3%	20．8%	289	468	647	94．0%	28，672	4，284	137
目標	8，633	9，355	2，614	90．0%	90．0%	21．3%	21．7%	304	387	623	92．1%	27，301	4，341	112
目標達成率	95%	100%	101%	*	*	90%	95%	95%	120%	103%	102%	105%	98%	122%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク別府　就職支援業務報告（平成３０年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、利用者満足度の向上を最重点として取組みました。求人充足サービスとしては、一定の労働条件を満たした求人票とその企業画像の掲示や要件緩和に応じていただいた求人の求職者への情報提供等の取組を実施しました。職業相談窓口においては、態様別窓口を一本化することにより来所者対応の効率化を図り、待ち時間の解消と相談時間を十分に確保することができました。

その結果、求人者の満足度は、77,8％と前年度からは 18.7Ｐ向上し、求職者の満足度では、前年度を 27.9Ｐ上回り 98.5％と非常に高い評価を受けることができました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職業相談窓口における就職支援サービスの充実を図るため、当所では、職業選択のガイドとなるキャリアインサイト（ＣＩ）を効果的に活用しているところですが、今年度は、より簡易に判定ができる「ＶＲＴカード」の使用に向けて職員に対する研修を実施することとしており、相談窓口における職業適性診断がより利用しやすいものとなるよう取り組んでまいります。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

就職支援サービスの改善については、応募書類添削や模擬面接の実施内容見直し、キャリアインサイトの積極的実施と求職登録促進、事業所訪問の実施による事業所情報の収集と提供、「求職者支援メニュー一覧」「求人情報検索パソコン利用ガイド」の改訂、利用者目線に立ったパンフレットスタンドの整理などに取り組みました。

求人充足サービスの改善については、求人事業所の画像情報の収集と提供、経済・業界団体からの情報収集強化と当該団体への就職支援制度等の積極的な周知について取り組みました。

また、設備等の改善では、ハローワーク別府庁舎内トイレの全面的改装と洋式化及び「国東地域ふるさとハローワーク」の移設に併せて窓口レイアウトのリニューアルを実施しました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者の減少に伴い紹介件数及び就職件数の減少や就職支援セミナーの受講率が低下しており、就職率アップ、紹介件数の積上げ、求職者の窓口誘導等の取組の見直しを行っていく必要があります。

具体的には、求職者に対する求人情報提供や応募書類の添削指導、模擬面接実施等の徹底、キャリアインサイトの活用による求職者の自己理解の促進、セミナー受講への誘導等について積極的に取り組むこととしております。

また、求人者サービスとしましては、応募したくなる求人票の作成アドバイスや求職者の希望や動向の情報が共有できるよう求人充足会議の充実を図ってまいります。

（４）その他業務運営についての分析等

別府市は、世界的温泉地として認知度が上がっており、インバウンドの増加に加え、ラグビーワールドカップや東京オリンピック、さらには大阪万博の波及効果も予想されることから、宿泊施設の進出や増設、リニューアルが進んでいく中、宿泊業における人手不足はますます強まってくることが予想されます。

そのため、当所では、人材不足求人の条件見直し等のフォローアップや潜在的求職者の掘り起し等に積極的に取り組んでまいります。

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者等の就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数（必須指標）	正社員就職件数（必須指標）	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
実績	3,831	3,345	1,027	77.8%	98.5%	20.5%	18.9%	138	93.1%	7,434	1,873	91
目標	4,024	3,561	1,048	90.0%	90.0%	22.8%	20.5%	123	92.1%	8,160	1,885	74
目標達成率	95%	93%	97%	*	*	89%	92%	112%	101%	91%	99%	122%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク中津　就職支援業務報告（平成３０年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、職業相談部門職員が管内求人事業所の職場環境等を把握し、求職者と綿密な職業相談及び的確紹介を行うことで就職件数の向上を図るため、求人・専門援助部門職員との同行による事業所訪問を実施しました。

また、郵送や電話等による求人情報提供の充実強化、求職者担当制の対象者の確保等に積極的に取り組むとともに、内部実施体制の確立を目的とした「業務検討委員会」及び職員全体会議の開催などに取り組みました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取り組み

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、雇用保険担当の若手職員を中心に職業相談関係の業務研修を行いました。加えて、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、全職員を対象に労働基準関係業務の研修を実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

求人情報提供端末利用者の利便性の向上を図るため、端末配置図を利用者目線に立った分かりやすい内容に改善するとともに、端末利用カードに記載している窓口利用案内に具体的な支援サービスの内容を盛り込みました。

また、求人情報提供端末利用者の窓口誘導を図るため、相談目的別に６種類の「相談カード」を作成の上、求人情報提供端末周辺に配置し、利用者の相談目的に沿った対応がスムーズに行えるよう業務改善を行いました。ＴＡ

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

建設、運輸、医療・介護・福祉など有効求人倍率の高い職種のみならず、管内主要産業である自動車製造及び関連業種等の製造業においても「人手不足」の状態は深刻さを増しており、求人充足対策が大きな課題となっています。そのため求人受理時における求人条件の詳細な聞き取りや求人条件緩和指導等により、求人内容の充実を図るとともに、求人担当制による事業所フォロー、「求人充足会議」及び「未充足求人対策会議」を活用した求人情報提供など効果的なマッチングに取り組みます。

また、求人情報提供端末のみ利用者の窓口誘導対策の強化、雇用保険受給者の認定日等を活用した職業相談の徹底など、求職者確保対策の充実・強化を図ります。

（４）その他業務運営についての分析等

新規求職者の減少（対前年比▲7．0%）に伴い職業相談件数及び紹介件数も低下しているため、求職者に対する就職支援サービスの周知を徹底し、職業相談窓口へ誘導するとともに、求職希望条件等の詳細な聞き取り及びHWシステム求職管理情報への入力、求職希望条件に応じた的確な求人情報提供、求職者担当制によるきめ細かな職業相談など、ミスマッチの解消及び求人充足対策を強化することを目的として、求人・専門援助部門と職業相談部門職員が連携して各業務に取り組みます。

また、市役所、商工会議所等の関係各機関とも連携して、「潜在求職者」の掘起しに取り組みます

２　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員の求人数	正社員の就職件数
実績	2.340	2.120	507	86.0%	95.3%	19.7%	22.9%	93.3%	4.387	1.051
目標	2.444	2.182	529	90.0%	90.0%	21.9%	24.4%	92.1%	4.180	1.153
目標達成率	95%	97%	95%	*	*	89%	93%	101%	104%	91%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク日田　就職支援業務報告（平成 30 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

「人手不足」への対応や「働き方改革」の推進を念頭に、当所においては「求人の充足」を最重要課題とし、各種施策を実施いたしました。特に、新たに取組を始めた「求人応援する倍！メニュー」による求人の充足支援が成果を上げました。「求人応援する倍！メニュー」は、求人に「応募をしない理由」を求職者から聞き取り、当該理由に対する労働条件の改善等を求人者に提案したうえで、改善された場合は安定所において求人票の掲示や求職者への連絡等の再支援を行うものです。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

キャリアコンサルタント研修を受講させることにより、職員の専門性の向上を図りました。また、ハローワークの求人受理及び職業相談等においては、各種法令の知識が必要になることから、労働基準監督署との連携により労働基準法や労働安全衛生法にかかる研修を実施しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者が窓口を利用しやすいように、求人情報提供端末の周辺に、窓口の就職支援サービス内容を表示した相談カードを配置しました。窓口の利用方法を案内し、求職者の希望するサービスを的確に把握することにより、スムーズな就職支援を実施しています。

また、求人情報提供端末画面では求人票を並べて閲覧すること等が出来ないため、所内に求人票を多数掲示（新着求人、正社員求人、60 歳以上応募歓迎求人、条件アップ求人等）し、求人内容の確認や求人条件の比較をしやすくしました。

さらに、求人充足支援として、事業主の生の声を求職者に伝えるため、事業所ミニ説明会を毎週開催しました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

少子高齢化による構造的な「人手不足」への対応や「働き方改革」の推進という課題に対して、60 歳以上の求職者の応募を歓迎する求人への支援や「求人応援する倍！メニュー」等の施策を充実させることにより、求人者の人材確保支援に引き続き取り組んでまいります。

また、潜在求職者の掘り起こしと併せて、求職者担当者制や雇用保険受給者への早期求人情報提供等の支援を実施し、求職者の就職促進を図る予定としています。

（４）その他業務運営についての分析等

正社員求人への応募を求職者に積極的に勧奨した結果、新規求職者が前年度と比べて４．９％減少したにもかかわらず、正社員就職件数は１，０３７件と目標を達成し、常用就職に占める正社員の割合も前年度と比べて２．２ポイント上昇するなど、安定的雇用の推進を図ることができました。

また、日田市との雇用対策協定に基づき、地域のニーズに沿った面接会等の雇用対策を連携して実施しました。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	障害者の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2,108	1,943	583	88.9%	100.0%	19.0%	22.3%	131	4,549	1,037
目標	2,103	1,828	557	90.0%	90.0%	19.8%	21.6%	124	4,171	965
目標達成率	100%	106%	104%	*	*	95%	103%	105%	109%	107%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク佐伯　就職支援業務報告（平成３０年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

平成２９年度の雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成率が９４．６％とやや低調であったことを踏まえて、平成３０年度は管理課業務係との連携によりに「相談窓口連絡ファイル」を活用した認定後の職業相談窓口への誘導に積極的に取組みました。

また、給付制限中の雇用保険受給者を対象に認定応当日における職業相談を実施するための「来所予定名簿」を作成し、個別に事前マッチングをした求人情報の提供や個々の受給者の再就職への意向を把握するためのきめ細かな職業相談を実施しました。

さらに再就職手当を活用した早期再就職の意欲喚起を図るため、受給者説明会において個々の受給者ごとに「再就職手当支給額シミュレーションリーフレット」を作成配付するとともに、業務係が管理する「再就職手当支給申請書受理簿」により月別の支給状況等を詳細に把握するなどの進捗管理に取り組みました。その結果、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成率は１０２．９％に向上しました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

労働基準法等の知識付与的な業務研修に加え、雇用保険業務を担当する若手職員（共通採用事務官）を対象とした職業相談業務及び求人業務に係る実践的な研修を実施し、職業紹介業務知識の拡大や窓口業務に係る対応技法等の習得を図りました。併せて、雇用保険業務の担当入替えを実施し、雇用保険業務に係る全般的な業務理解の促進を図りました。

また、職員の職業相談技能の向上を図るため、労働局が開催する「キャリアコンサルティング研修」を受講し、専門的な対応技法等の習得に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

従来から「ポスター掲示板」として活用していた玄関ホール壁面スペースを「情報掲示板（さーいきいき情報ボード)」として刷新し、求職者に対する情報提供サービスの向上を図るとともに、来所求職者の相談窓口誘導及び求人の充足促進を図るための改善に積極的に取り組みました。

具体的には、雑然と貼布されていた周知用ポスターを一掃し、中高年齢者の採用に意欲的な事業所からの「シニア応援求人」や条件緩和事項を明記した「条件緩和求人」、さらには応募頻度の高い「事務系求人」などの求人票をＡ３サイズに拡大掲示するなど、より見やすい情報として提供しました。

また、玄関ホールの周辺整備を行い、従来活用されていなかった壁面スペースにも情報掲示用のボードを設置し、求人票以上の事業所情報を提供するため、作業風景等が撮影された「事業所画像情報」をＡ３版求人票とともに掲示期間を定めより多くの事業所情報を提供しました。

その結果「情報掲示板」前で足を止める来所求職者も多く、掲示求人を契機とした相談窓口利用者もみられる一方、求人事業所からも掲示に係る問合せをいただくなど一定の成果が認められています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

中高年齢求職者（おおむね５０歳以上）が全求職者の約半数を占めるため、「情報掲示板」を活用した「シニア応援求人」のＡ３版拡大掲示など、中高年齢求職者を対象とした情報提供方法の充実・改善に今後も取り組むこととしています。

また、地元企業の人材確保及び中高年齢求職者の就職支援を図るため、中高年齢者の雇用に前向きな企業を対象とした「中高年齢者就職面接会」を今年度から規模を拡大して開催しており、今後も求職者ニーズ及び求人者ニーズの把握を行いつつ効果的な開催を検討するなど中高年齢求職者の就職支援サービスの充実を図っていきます。

さらに、平成３１年度からは「生涯現役支援窓口事業」が開始されることもあり、高年齢者の就労支援に係るハード・ソフト両面にわたるサービス改善に取り組んでいきます。

（4）その他業務運営についての分析等

平成２７年国勢調査結果による人口減少率を市町村別にみると津久見市が▲９．８％（県内第２位)、臼杵市が▲６．５％（県内第８位)、佐伯市▲６．２％（県内第９位）と大分県内１８市町村のうち管内自治体がワースト１０内に全て入るなど、管内各自治体の人口減少対策が喫緊の課題となっています。

そこで、少子高齢化の進行による労働力人口の減少が深刻化しつつある現状において、各自治体との連携をより一層深め、若年労働力のこれ以上の流出を防ぐための地元学卒者の地元就職の促進及び人手不足対策としての求職者の掘り起しや管内企業への求人充足サービスの強化を図っていきます。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	建設分野の就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結び付いたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2，515	2，170	684	83．6%	95．6%	17．1%	23．0%	105	330	5，250	1，121
目標	2，458	2，145	665	90．0%	90．0%	18．8%	23．4%	74	290	4，802	1，090
目標達成率	102%	101%	102%	*	*	90%	98%	141%	113%	109%	102%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク宇佐　就職支援業務報告（平成３０年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、次の３点を最重点として取り組みました。

●常用就職促進のために新規求職者が減少する中、目標達成に向けて重点求職者の確保に取り組みました。年度計 695 人（年間目標 288 人）。

●常用充足件数促進のために毎日行っている求人充足会議の中で、求人フォロー担当者制を行い、選定求人の充足に取り組みました。年度計フォロー求人 206 件、充足件数 72 件、充足割合 35%（年間目標フォロー求人 180 件、充足件数 72 件、充足割合 40%以上）

●雇用保険受給者の早期再就職促進のために目標達成に向けて重点求職者の確保、情報提供、早期職業紹介に取り組みました。年度計重点求職者数 430 人（年間目標 96 人）。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、月１回、Off-JT による研修を実施し、職員・相談員の資質向上に努めているところ、平成 30 年度においては、新しくしごとサポーター養成、公文書管理法、毎勤統計不適切取扱いによる雇用保険の追加給付等にかかる研修に取り組みました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

平成 30 年６月 29 日に「働き方改革関連法」が成立し、平成 31 年４月１日から、年休の確実な取得等が順次施行されたところです。当所では、平成 30 年９月から求人票の「求人条件特記事項欄」又は「備考欄」に、求人票に表れにくい「働きやすさ、休みの取りやすさ」等事業所のひと言アピールを【事業所からのひと言】として記載することを求人者に勧奨しています。

【例】☆平成 31 年３月より週休二日制移行に伴い、年間休日 120 日となり仕事と家庭を両立できる働きやすい職場です。（正看護師の募集）

☆60 歳以上の方、またダブルワーク希望の方も応募可（コンビニ店員の募集）

☆仕事と子育ての両立を応援します。有給休暇取得率 100%です。欠員補充による募集です。（介護職員の募集）

☆福利厚生にも力を入れており、「大分県北部勤労者福祉サービスセンター」にも加入しています。事業所業績によっては、2.0 ヵ月以上の賞与が支給されています。（販売事務員の募集）　等

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

次期ハローワークシステムの更改に伴い「求人・事業所ＰＲシート」が新設され、事業所からのメッセージやＰＲ情報が掲載できることとなる予定であるため、事前周知を徹底するとともに、働きやすさ（年休の取得実績や定着状況等）やＰＲ情報の掲載を求人者へ積極的に勧奨し、現在行っている【事業所からひと言】をさらに充実させたいと考えております。

（４）その他業務運営についての分析等

平成 30 年 11 月 14 日（水）～平成 30 年 12 月 14 日（金）に求職者 150 人に「転職や離職の理由」アンケートを実施したところ、

１位：賃金が低い、２位：将来性、３位：残業が多い、同率３位：人間関係、５位：有給休暇を取りづらい

との結果となり、労働条件や雇用環境が転職や離職の中心的要因になっていることが確認されました。

また、転職や退職を回避するために必要な対応として、

１位：労働条件改善、２位：必要な職員数の配置、３位：組織作り・姿勢、同率３位：業務量の見直し、同率３位：相談できる職場環境

との結果となり、バブル崩壊後のいわゆる「花長風月」な価値観を捨てて、懸命に働いてきた労働者が、自分の時間を大切にでき、給料も高い生活と風通しがよく、労働密度が高すぎない、働きやすい職場を望んでいることがうかがえます。

上記（２）及び（３）と重複しますが、募集・定着に当たって、今後ますます雇用管理改善の取組実績が事業主に求められると考えられるため、事業主に対する魅力ある職場づくりの周知・ＰＲがハローワークにとって重要になるものと思われます。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	①生活保護受給者等の就職件数	⑦正社員求人数	⑧正社員就職件数
実績	2,072	1,858	555	85.3%	94.6%	19.6%	23.8%	113	3,482	1,043
目標	2,093	1,808	490	90.0%	90.0%	19.9%	24.9%	85	4,363	1,032
目標達成率	98%	102%	113%	*	*	98%	95%	132%	79%	101%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク豊後大野　就職支援業務報告（平成３０年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では、「就職件数」の目標達成を最重要と考え、以下の各種取組を積極的に実施しました。

・支援の必要性が高い求職者に対する求職者担当制（双方向形式）・予約相談等によるきめ細かな就職支援

・新規求職登録後、一定期間来所しない求職者に対する窓口誘引対策（来所勧奨強化のため電話等により「就職支援メニュー」を説明）

・求職者が希望する職種を中心に最新の求人情報の提供

・特に雇用保険受給者の早期就職促進対策として、求職登録時に就職希望の事前確認アンケートを実施し、確実な求職者ニーズの把握、早期就職希望者に対する認定日におけるマッチング求人情報の積極的な提供、雇用保険就職促進給付制度についての個別案内等

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

求人者・求職者に対して、適切なサービスを行うためには職員（期間業務職員を含む）個々の資質向上を図り、業務に関する広範な知識習得等が必要であることから、職員研修及びＯＪＴ研修を積極的に実施しました。また、求人担当及び職業相談担当からの各種情報を共有するため、全員参加の情報交換会（昼間ミーティング）を開催し、前日受理求人内容の確認及び業務内容・目標等の解説、具体的な取組方法の説明・指示を行うとともに重点指標等の進捗状況、分析、改善指示等を行いました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

求人担当者制や求職者担当者制（双方向形式）でカバーできない求人・求職者の積極的なマッチングを行うため、新規受理求人の条件に適合する求職者の検索を日々ハローワークシステム等により実施し、積極的な求人情報の提供を行うよう努めました。また、未充足求人についてはケース会議を行い、求人者へ求人条件緩和相談を行い、より求職者ニーズに沿った求人とする取組みを行いました。

（３）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者へのきめ細かな就職支援により、雇用保険受給者早期再就職件数は目標を達成しましたが、一方で新規求職申込件数の減少もあり、就職件数については、目標を達成することができませんでした。管内人口の高齢化に伴い、高齢求職者の割合は年々高まっている状況から、特にシニア層の就職支援内容について改善を行う必要があると判断されたことから、シニア層雇用歓迎求人の確保や情報提供の在り方、担当者制による個別支援などを積極的に行うこととします。

（４）その他業務運営についての分析等

平成 30 年度の求人充足数は 1,106 件の目標に対し、1,012 件となりました。求人全体のうち、正社員求人の占める割合が 43%であったことも大きな要因と捉え、今後は、正社員求人の開拓に重点を置いて実施するとともに、併せて、求人者に対して求職者ニーズを的確に伝え、求人条件の設定相談を積極的に実施してまいります。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	求人に対する紹介率	求職者に対する紹介率	生活保護受給者の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,237	1,012	318	95.8%	100%	17.2%	22.2%	46	1,940	495
目標	1,276	1,106	268	90.0%	90.0%	18.7%	23.6%	43	2,483	503
目標達成率	96%	91%	118%	*	*	91%	94%	106%	78%	98%

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワークの職業紹介業務目標の進捗状況について

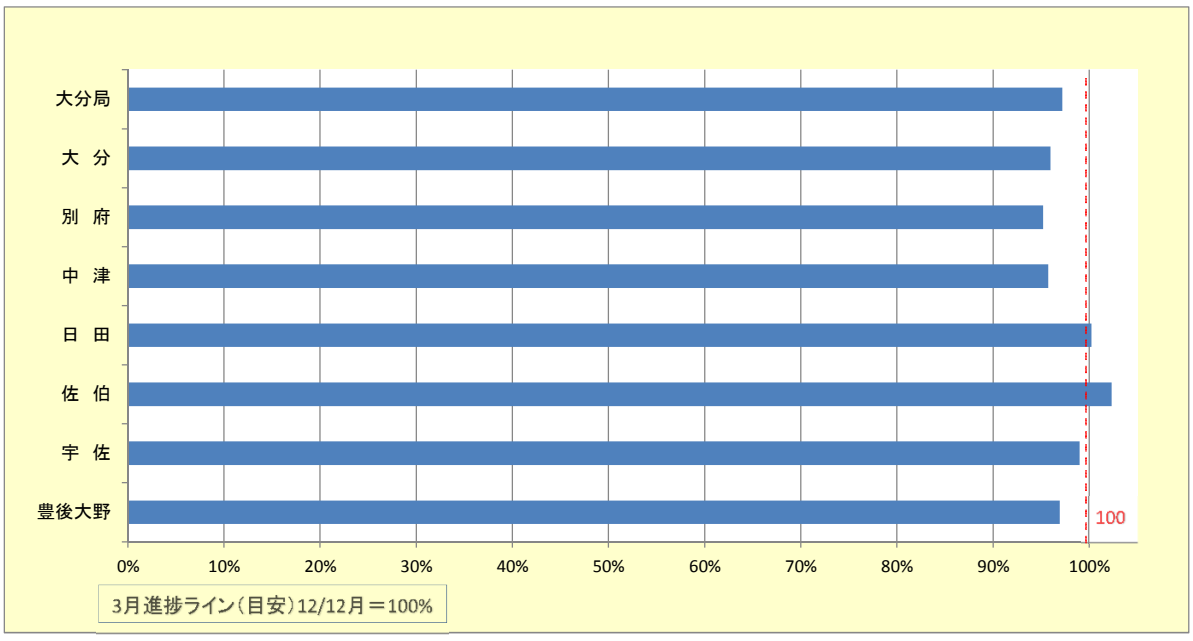
平成31年3月

就職件数(常用)

実　績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	23,031	2,177	2,129	1,798	1,803	1,672	1,755	1,979	1,766	1,421	1,518	1,901	2,470	22,389	97.2%
大　分	8,633	775	804	631	712	612	629	739	682	525	555	674	948	8,286	96.0%
別　府	4,024	378	381	309	310	303	323	341	296	255	260	319	356	3,831	95.2%
中　津	2,444	206	211	207	181	180	179	194	175	146	160	209	292	2,340	95.7%
日　田	2,103	197	188	170	155	148	180	209	184	127	140	198	212	2,108	100.2%
佐　伯	2,458	282	269	202	194	183	185	221	201	162	184	203	229	2,515	102.3%
宇　佐	2,093	227	181	167	142	162	152	175	147	119	140	183	277	2,072	99.0%
豊後大野	1,276	112	95	112	109	84	107	100	81	87	79	115	156	1,237	96.9%

進　捗　状　況



ハローワークの職業紹介業務目標の進捗状況について

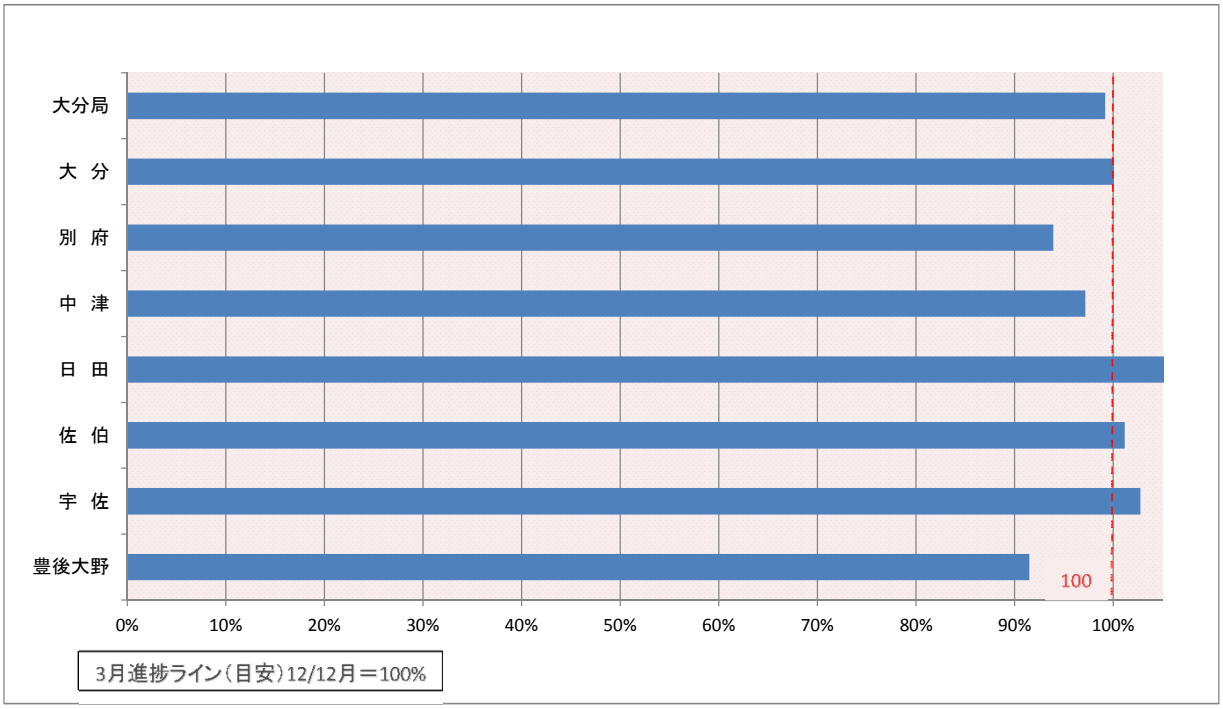
平成31年3月

充足件数（常用　受理地ベース）

実　績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	21,985	2,169	2,060	1,766	1,713	1,616	1,713	1,922	1,721	1,371	1,481	1,860	2,417	21,809	99.2%
大　分	9,355	906	869	720	778	677	724	832	784	601	648	772	1,050	9,361	100.1%
別　府	3,561	339	343	285	251	279	274	305	239	212	217	292	309	3,345	93.9%
中　津	2,182	211	183	196	161	147	174	174	151	130	143	172	278	2,120	97.2%
日　田	1,828	187	166	153	146	139	167	190	166	113	131	185	200	1,943	106.3%
佐　伯	2,145	237	240	170	155	164	160	186	179	138	158	181	202	2,170	101.2%
宇　佐	1,808	188	172	148	138	143	137	157	138	109	123	158	247	1,858	102.8%
豊後大野	1,106	101	87	94	84	67	77	78	64	68	61	100	131	1,012	91.5%

進　捗　状　況



ハローワークの職業紹介業務目標の進捗状況について

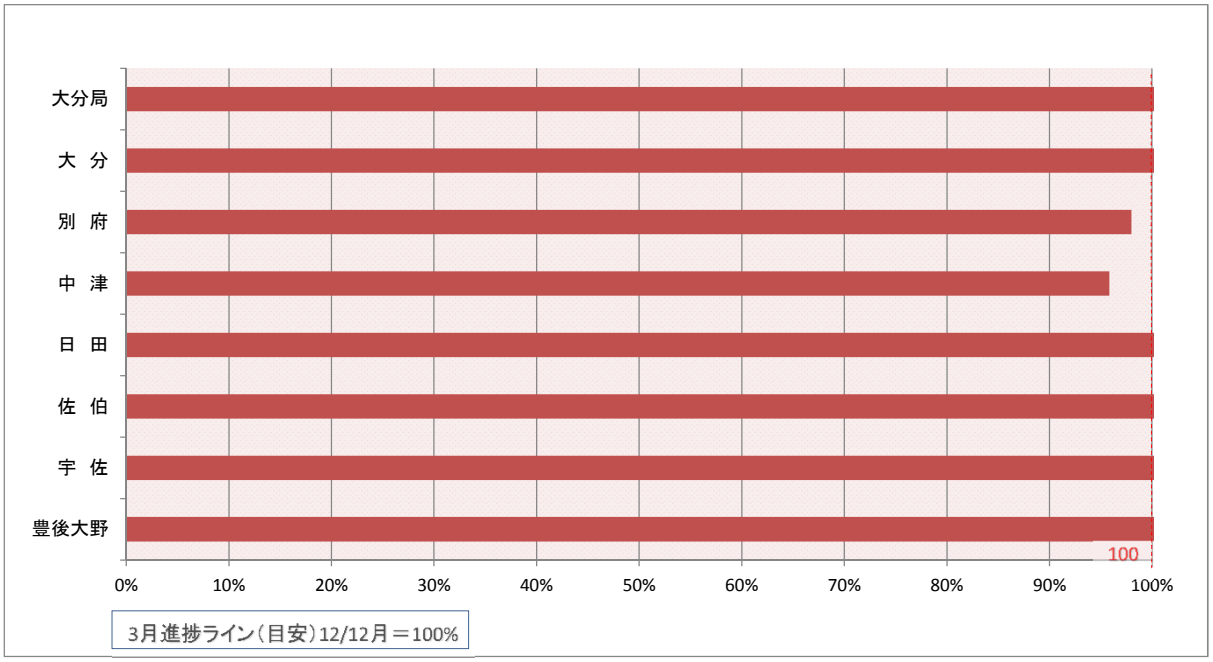
平成31年3月

雇用保険受給者の早期再就職件数

実　績

	目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	達成率
大分局	6,171	481	683	652	542	559	396	610	570	480	420	442	485	6,320	102.4%
大　分	2,614	187	266	263	241	260	143	245	265	196	180	192	208	2,646	101.2%
別　府	1,048	78	119	97	83	74	77	112	74	87	69	73	84	1,027	98.0%
中　津	529	43	57	46	54	51	32	43	54	39	21	31	36	507	95.8%
日　田	557	52	69	68	45	39	38	59	47	43	40	43	40	583	104.7%
佐　伯	665	50	85	73	53	52	36	70	72	55	47	54	37	684	102.9%
宇　佐	490	44	56	69	40	51	40	47	36	38	43	35	56	555	113.3%
豊後大野	268	27	31	36	26	32	30	34	22	22	20	14	24	318	118.7%

進　捗　状　況



※　雇用保険受給者の早期再就職件数については、1ヶ月遅れの公表となります。